

参考資料4（和訳資料） BLED DECLARATION ブレッド宣言 欧州連合の農村部のよりスマートな未来をめざして

コーク 2.0 宣言のような従来の宣言同様、2018 年 4 月 13 日にスロベニアのブレッドで開催された会議の結論を振り返って

以下に署名した発起人は、デジタル化された農村部の経済が、画期的で統合化され、差別を許さない包摂的な方法で開発されれば、農村部の住民の生活の質を高める潜在的能力を発揮し、現在の農村部の人口減少を食い止め、結束を強化できると確信する。われわれは将来の欧州連合と各加盟国の政策立案に向けた準備を、スマートヴィレッジ構想形成の好機と考える。スマートヴィレッジは、経済と社会の統合化をうながし、農村部と都市部の間で著しい、われわれの社会の社会的不公平性を改善する潜在力を秘めている。

スマートヴィレッジとは「既存の強みや資産だけでなく、生まれつつある新しい機会を将来に向けて活用する農村部とそのコミュニティのことである」。こうした農村部では「従来型と新時代のネットワークとサービスの質が、デジタル型の通信技術やイノベーション、知識のより有効な活用により高められる」。

欧州連合アクション・フォー・スマートヴィレッジ
欧州委員会

スマートヴィレッジ構想の狙いは、デジタル技術を応用した画期的ソリューションにより生活を便利で快適なものにして、住民がこれからも暮らしていきたいと望む農村部を創生することにある。スマートヴィレッジの好例としては、循環型経済やシェアリング経済から生まれたビジネス・モデルやプラットフォームが挙げられる。こうしたビジネス・モデルやプラットフォームは、農村部にもたらすこともできる。

フランク・ボゴヴィッチ、ティボール・スザニ
欧州議会

われわれは、早くも 2019 年には、欧州連合の加盟国の一部において、スマートヴィレッジがモデル事業となることを望む。スマートヴィレッジは、地元の資産を積極的に活用して

直面する課題を解決し、目の前のビジネス・チャンスを見逃さない人びとによって支えられる。スマートヴィレッジが成り立つためにはデジタル・テクノロジーが強力なツールになるが、デジタル・テクノロジーだけが唯一の手段というわけではない。モデル事業となるこうした 村落は、住民の能力開発のためのツールを提供し、以下に挙げる画期的技術との間で相乗効果を生む。

- プレシジョン・ファーマーミング（精密農業）：センサーや意思決定サポート・システムの助けを借りて、農業生産に要するインプットを最小限に留める一方で産出量を最大限に増やし、食品のサプライチェーンの質を高めるとともに資源と環境を守る。
- 生活に不可欠のサービスを提供するデジタル・プラットフォームの活用。具体的には e ラーニング、e ヘルス（医療ケアをより受けやすくする）、e アドミニストレーション（行政手続きの電子化）、交通手段、食生活、社会関連サービスの改善につながるデジタル・プラットフォームの導入、寡占化した小売業構造を回避する P2C プラットフォームの導入、農業生産物の質の向上と選択肢の多様化などが挙げられる。
- シェアリングエコノミーの活用により高度なテクノロジーを駆使したソリューションと機器の普及をめざす。
- 循環型経済を普及させ、無駄を抑え、資源を蓄える。
- 研究活動を振興させてイノベーションと高度なテクノロジーを達成し、バイオ関連経済を推し進める。
- 広大なスペースがあるだけでなく、風力や太陽光、水、土壌、森林、バイオマスなど必要な資源が簡単に入手できる農村部にとって再生エネルギーはとりわけ有意義な技術分野である。
- 農村部を目的地とするツーリズムの振興。エコツーリズムや健康促進ツーリズム、農業体験ツーリズム、レクリエーションを目的とするツーリズムなどが楽しめる農村部は、付加価値の高い新規雇用を大量に生み出せる可能性を秘めている。
- 農村部における各種サービスや新規事業にソーシャル・イノベーションを採り入れる。

上記の政策の導入により、今後、農村部の雇用機会には付加価値が生じる。労働集約的な農家の仕事を補完する、知識集約的な多種多様な雇用が農村部で創出される。具体的には、農業の科学的研究者、ドローンの操縦士、バイオテクノロジスト、ラボ研究者、メカトロニクス研究者、エレクトロニクスや IT 分野のエンジニアなどが挙げられる。農業分野の各事業に関連して、今後は新しいサービス業が誕生する。またこうした新規産業の登場にともない、若者が農村部に戻ってきて研究に取り組み、専門性の高いホワイトカラー・ワーカーとして働き続けるようになる。

こうした目標達成のためには以下の取組が必要だ。

- 農村部のコミュニティに対する投資の必要性。知識とデジタル技能を高め、を高め、起業家精神を発揮し、自分の力を信じて粘り強く生き、地元地域のインフラを開発し、生活の質を高める。
- 欧州連合がすでに共通農業政策(CAP)、ホライゾン 2020、欧州戦略投資基金(EFSI)、ESIF など四つの大型基金を設立して農村部経済の活性化に取り組んでいることにわれわれは感謝するが、シナジー効果を生み出すためには、さらなる政策が必要だ。
- われわれとしては、農村部の各コミュニティがこうした基金団体の機能をフルに活用し、全面的協力を得られるようにしたい。具体的には、農村部におけるイノベーション創出の仕掛人の育成、農村部開発に向けたシナジー効果政策の立案、投資を呼び込む誘致策の実施などが挙げられる。
- 既存のデジタル・ツールを網羅的に活用し、インターネットでつながった巨大な農村部を構築すれば、史上空前のシナジー効果を創出し、世界各地の農村部の模範となるハイテクを駆使した高い水準の生活を達成できるとわれわれは革新している。
- このスマートヴィレッジ構想によって民間の資金の流れが活性化し、持続可能な雇用と成長が農村部で実現することをわれわれは信じている。
- われわれは、農村部におけるテクノロジー部門や交通機関部門、地元の各種サービス部門、ツーリズム部門、農業部門やバイオ技術を基礎とする分野で雇用創出に拍車をかけることにより、農村部における貧困を克服できると確信している。

われわれは、欧州連合の農村部によりスマートな未来が到来することを信じている。われわれは、スマートヴィレッジ構想こそ、社会の変革につながるデジタル・トランスフォーメーションを促進するうえで最適のツールだと確信している。大切なのは、食品と農業の将来のあり方を抜本的に考え直し、そのことを通じて欧州連合全域の農村部コミュニティを維持し、再建し、より強固なものにすることだ。

ブレット、4 月 13 日